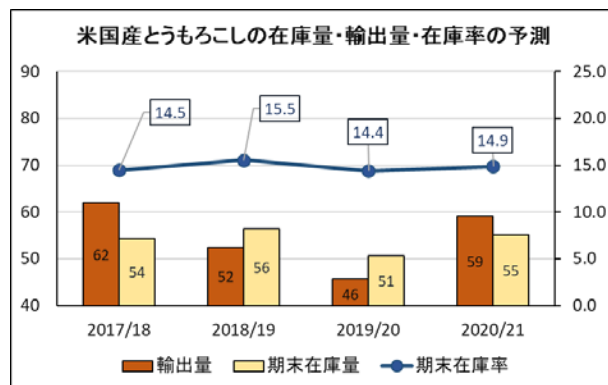
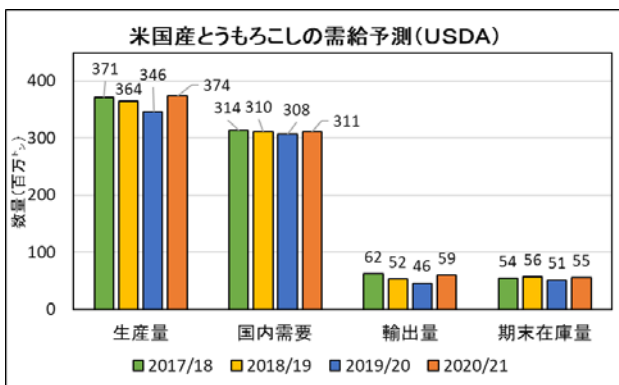


飼料穀物の需給見通し及び輸入原料事情について（令和2年10月）

○ 全日畜では、全日基の協力で「飼料穀物の需給見通し及び輸入原料事情」を提供します。

(1) 米国産とうもろこしの2020/21（令和2年9月～3年8月）年度の需給予測

【生産量】	3億7,396万ト	(前月予測比：▲452万ト)
【単収】	11.20 ト/ha	(前月同予測)
	(178.5 ブッシェル/エーカー)	
【国内需要量】	3億1,117万ト	(前月予測比：▲254万ト)
【輸出量】	5,906万ト	(前月同予測)
【期末在庫】	5,504万ト	(前月予測比：▲853万ト)
【期末在庫率】	14.9%	(前月予測比：▲2.2%)
		(世界の期末在庫率 25.8%)



(2) 飼料穀物（シカゴ）相場及び為替相場の状況等

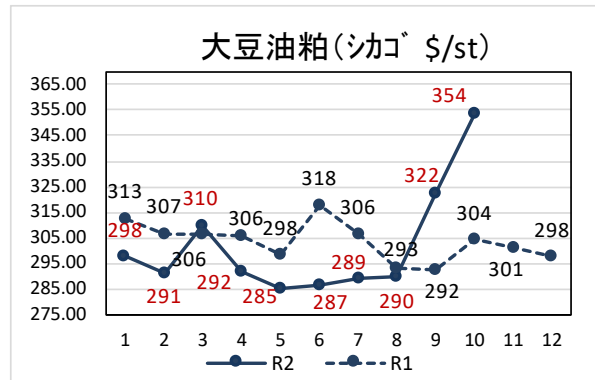
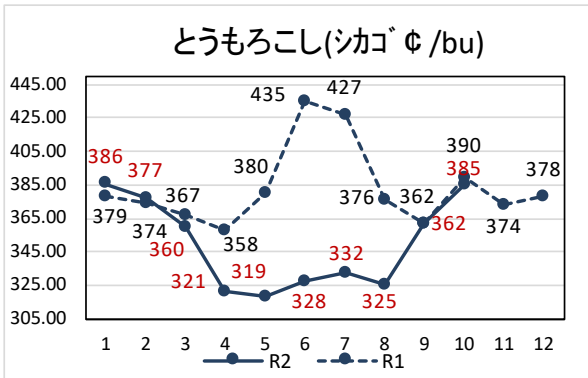
区分/月平均	6月	7月	8月	9月	10月	
とうもろこし (¢/ブッシェル)	327.6	332.1	325.2	362.3	385.4	↑
大豆油粕 (ドル/ト)	286.8	289.5	289.9	322.4	353.7	↑
為替相場(円/ドル)	107.8	107.2	106.2	106.0	105.6	↓
フレート (ドル/ト)	40.9	50.0	51.1	49.7	48.9	↓

資料：飼料月報、業界紙等 直近月は月半ば(R2.10.9)までの平均値

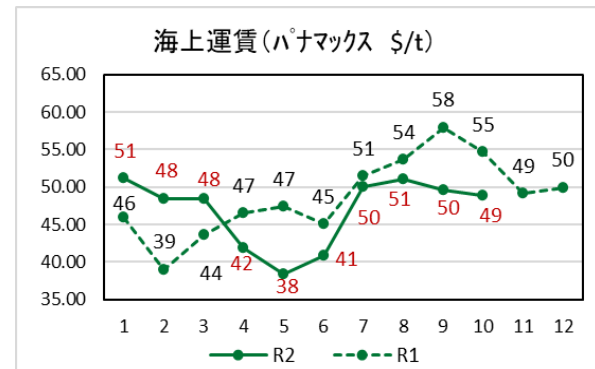
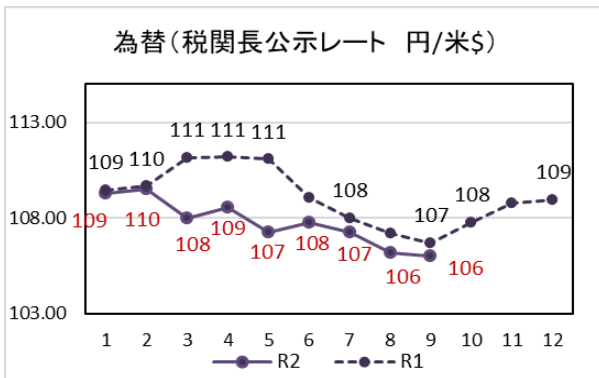
(注) 穀物価格はシカゴ相場の期近物平均、フレートはメキシコ湾岸～日本（平均）為替レートは税関長指示レート

(参考)

① シカゴ相場



② 為替、フレート



③ 配合飼料原料の輸入価格 (通関月ベース CIF 円/トﾝ)

